



## 一般社団法人 メディカルスタディ協会

### ◇ 中島慶八郎氏の医療ブツタ切り第37回「保険制度を維持する為に」◇

文／中島慶八郎氏

我が国の高齢化率（総人口の中で65才以上の占める割合）が平成27年について26%と、4分の1を超えた。2025年には30%と予想され、健康保険、介護保険共に利用者の増加が予想される。この制度を維持する為には財源をどのように確保するか？が重要である。消費税10%が延期され、ますます不安が増大している。

7月14日に開催された第96回社会保障審議会医療保険部会でも各団体から要望よりも財源に対する不安の声が多く聞かれた。

制度を維持するためには次の4点が考えられる。

1. 報酬を下げる
  2. 条件を厳しくする
  3. 保険の対象から外す
  4. 患者、利用者の自己負担を増やす
- であろう。

#### I 健康保険

1. 報酬を下げる  
個々の点数の引き下げもあるが、1点10円を9円にするという大胆な説もある。
2. 条件を厳しくする  
難病指定、障害者指定の条件を厳しくする。  
他職種と連携しないと取れない報酬が増える。  
主治医の紹介状なしでは急性期病院にはかかれない。  
生活習慣病は包括化にする。
3. 保険の対象外とする  
再生医療、先進医療。  
抗がん剤等の高価な報酬は対象外とする。すなわち、混合診療を認めることになる。
4. 患者の自己負担の拡大  
75歳以上の後期高齢者の2割負担。  
高額医療費の限度額を引き上げる。

## II 介護保険

### 1. 報酬を引き下げる

介護度1, 2, 3, 4, 5の限度額の引き下げ？

### 2. 条件を厳しくする

介護認定を厳しくする

### 3. 保険対象外とする

本来、介護保険は混合介護であるが、福祉用具等の利用が対象から外れ、全額自己負担となる可能性がある。

### 4. 利用者の自己負担のUP

保険料を現在の40歳からを、20歳から徴収する。

等々が考えられ、現実に検討されている。

制度を維持するためには出来ることは何でもやるという国の基本姿勢が見えてきている。